

コラム 知って得する「いえ活塾」⑦ ～ライフラインの復旧まで待ち応えられる住宅を～



徳島県学校生協住宅顧問

コミュニケーションバンク(株)代表取締役 山本 聡平

熊本で大地震が再び起きました。被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。
知って得する「いえ活塾」③ ～耐震性能を確認しましょう～で、耐震性能の重要性をご説明しました。今回は、「電気・水道・ガスなどのライフラインの停止や避難に備えよう」です。地震に対応できなければ、家族の命が危ないですし、避難所に行かなければならいです。ところが、耐震性が優れている住宅にお住まいでも、ライフラインの復旧まで持ちこたえられる住宅でないと、結局は家にいることが難しい状況になります。太陽光発電・蓄電池・貯水タンク・貯蔵庫などを、新築やリフォームで検討することが重要です。住まいの災害対応力が住まいづくりのポイントとなってきました。

生協ではWEB 無料個別相談会を随時開催していますので、一度是非ご相談ください。

筆者が発行しています“知って得する「いえ活手帖」“には、住まいや不動産に関するノウハウが満載です。住まいづくりに興味がある方必見です。ご希望の方にはプレゼントしますので、学校生協までお問合せください。



賢い土地・住まいの選び方

● 地震対策

ライフラインの停止や避難に備えよう



電気・水道・ガスが9割程度復旧するまでの日数		
	東日本大震災 (2011/3/11)	阪神淡路大震災 (1995/1/17)
電気	6日	2日
水道	24日	37日
ガス	34日	61日

出典：日本気象協会「トクする！防災」